

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 9 日 (2014.1.9)

【公開番号】特開 2011-112648 (P2011-112648A)

【公開日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)

【年通号数】公開・登録公報 2011-023

【出願番号】特願 2010-259912 (P2010-259912)

【国際特許分類】

G 0 1 S 13/34 (2006.01)

【F I】

G 0 1 S 13/34

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 19 日 (2013.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単一スロット導波管アンテナ (32、32-1) と、
前記アンテナと信号通信する、ポートを 3 つだけ備えたサーキュレータと、
前記アンテナと信号通信する送受信機 (34) であって、

送信機と、

前記サーキュレータの出力部に直接接続された受信機ミキサと、

送信機信号のサンプルを使用して局部発振器信号を供給するように構成された構成要素と、

前記局部発振器信号の到着時を漏洩または反射電力信号の少なくとも一方に関連した信号の到着時と一致させ、それによって前記受信機ミキサで位相雑音キャンセルを行うように構成された構成要素と、を含む送受信機 (34) と、
を含み、

前記送受信機は 100 KHz のオフセットで -100 dBc / Hz 未満の位相雑音を有するように設定され、

前記アンテナは動作周波数帯域にわたって 1.2 : 1 未満の電圧定在波比 (VSWR) を有するように設定され、

前記送信機の出力は 0.1 ワットに設定される、
レーダシステム (20)。

【請求項 2】

前記送受信機、電源、およびデジタル信号プロセッサ (DSP) を収容するように構成された基部 (30、30-1) と、

前記アンテナを収容するように構成されたアンテナレドーム (24) と、

前記送受信機と前記アンテナとの間に結合され、マイクロ波エネルギーを送出するように構成されている導波管回転継手 (26-1) と、をさらに含む、

請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

DSP を収容するように構成された基部 (30) と、

前記アンテナ、前記サーキュレータ、および前記送受信機を収容するように構成されたレドーム (52) と、

前記基部と前記レードームとの間に結合され、前記DSPと前記送受信機との間にデータ接続および電力接続を行うように構成される、電力およびデータの回転継手と、
をさらに含む、
請求項1に記載のシステム。